

中国人研修生とクッキング！



講師はファクトリーコスモ(佐賀)の中国人研修生・
インセイハイ シングツエイ
尹清平さんと司月栄さん。

2月11日、総合センターで、小学生7人が中国の家庭料理を作りました。ワールドクッキングという教育委員会主催事業のひとつで、今回は、中国江蘇省から研修のため日本に滞在している尹清平さんと司月栄さんに、水餃子とお団子の作り方を教えてもらいました。餃子もお団子も皮から手作り。日本のものとは一味違った本場の料理が完成しました。参加者からは「家でもぜひ作りたい!」「中国の方と初めて触れ合い楽しかった」との声が。研修生2人も、子どもたちと一緒に料理ができて嬉しいと、笑顔で楽しんでいました。

(生涯学習係)

災害時に備えた応急組立橋の架設訓練を実施しました

国土交通省中村河川国道事務所が平成25年度に配備された応急組立橋の架設訓練と見学会が、2月24日、大方バイパス早咲地区工事現場内で開催されました。

応急組立橋とは、台風などによる洪水・土砂崩れや地震などの災害により通行できなくなった橋や道路の代わりとなる橋で、代替の道路がない箇所です。早急に交通路を確保するためのものです。

当日は、大方中央保育所児童による通行体験や災害対策車輛の通行実演、地元建設業者による架設実践訓練が行われました。

(南海地震対策係)



万が一のときは応急組立橋が地域の迅速な復旧に役立つことを信じています。

インドネシアの漁業実習生カツオ船に乗って出港!

インドネシア共和国からの漁業実習生49人が、漁業を学ぶため、昨年12月に高知県室戸市に来日しました。

3カ月間、高知県外国人漁業研修センターで日本語や漁法を学んでいました。

そのうち29人が2月27日、各船主さんに迎えられ、カツオ一本釣り漁業の洋上実習を受けるため、黒潮町に来町しました。

実習生は「カツオ一本釣り漁法を学ぶために頑張ります」と意気込みを語り、期待と不安を胸に、日本近海の漁場へと佐賀漁港を出港しました。

(水産振興係)



役場佐賀支所で転入手続きを受けるインドネシア共和国の実習生。

いけいけフェスティバルで「ロコモ予防」学び交流

2月28日、保健福祉センターで「第15回いけいけフェスティバル」を開催。今年も町内各地区から総勢230人が参加し、健康について考え、交流を深めました。

最初に、幡多けんみん病院整形外科医師・北岡謙一さんが「ご存知ですかロコモ!東京オリンピックを目指して」と題して講演。「ロコモとは、運動器の障害のため移動能力が低下し、介護が必要な状態になること。無理せず自分のペースで運動を続け、6年後の東京オリンピックを観戦しましょう」と笑いを交えて話しました。

また、各地域の催し物では劇や踊りに大笑い。和気あいあいの楽しい一日でした。

(保健衛生係)



ロコモ予防の講演後、黒潮町オリジナルの「ロココ体操」を紹介。参加者全員で軽く体を動かしました。